磐城毎日

社長　大和田與兵衛
發行所　福島縣平市南町
株式會社　磐城毎日新聞社
編集兼印刷發行人　遠藤孝論
電話(平)一二一〇番

土木建築設計請負
磐城土建工業株式會社
社長　強口唯七郎
平市小太郎町
電話九・二六二・一〇二四番

市を中心の復興道路

豫算一億圓で繼續施工か

市戰災復興事業として二十三年度から着工した長橋町から第三小學校前に至る二十四米道路は堂之前でほゞ完成、税務署前から地區署を除き東北配電會社前までは本年度中に計畫通り完成する豫定である、豫算の關係で一時中止の止むなきに至り市事業えの移管說さえだいとうしたが市としても財政的に困難視されてゐた矢先き今回突然縣計畫課から繼續出來る可能性がある旨內報に接したので平復興建設事務所では計畫書を作成するとゝもに末吉所長は廿六日出縣打合せの上縣計畫課長と共に本省に出張した、本豫算は一億圓が計上されて居り本省を通過した場合は市內廿四米道路は勿論、第三小校から大字鹽野までの十一米國道も一きに完成されるもので期待をかけられてゐる

母校の施設復興に

藝術作品續々寄贈

縣下に誇る文化藝術校と言われた平市立第一小學校も戰災により全壞の憂き目にあい同校出身者及び校友會から贈られた多くの美術品も一瞬にして失つてしまつた、其の後校舎の新築とゝもに同校教員初め兒童PTAなどが協力、文化、藝術校の再起を目指し絶えない努力を續けてゐる、この程同校增子敎官の戰友だつた市內材木町鈴木普平氏(常磐炭礦倉庫主任)がこんなものでもと同敎官受持生徒(二年四組)江尻全機(八)さんの畫像(全身油繪)を寄贈して來たのを初め元磐高教官現東京學藝大教授山田武氏からバラの油繪、同校鳳聞教頭の友人である日本畫の權威古川畫伯からの美人繪など同校出身者及び校友會から次々と寄贈され美校の面目一新も遠からずと學校關係者を喜ばせまた感激されてゐる

……農改委員……
……臨時總會……

平地區農業改良委員會では卅日市役所で臨時總會

臨時平市會

卅日開く

市競輪場は豫想外に順調に工事の進捗を見ているので平市臨時市會は九月三十日午後一時より左の議案に依り開かれる

一、自轉車競走條例設定の件
一、平市分科條例改選の件
一、平市職員定數條例改選の件

藏氏

時局講習會

29日市公會堂で

福島縣青年議會、福島縣、平市共催、讀賣新聞社、福島民友新聞社後援による朝鮮動乱と經濟の解部時局講演會は廿九日午後六時から市公會堂本館で開催される朝鮮動乱をめぐる米ソの動き讀賣新聞社講演委員近藤勉氏、再びインフレは來るか元慶應大學教授經濟博士加田哲二氏の両名が約二時間にわたつて熱演する、當日は濱通り青年議員十名も出席する、入場無料

……學校職員……
……給與打合……

廿六日午前九時より平一小において給與に關する打ち合會を開き教育職員調整号棒の取扱について協議した

小野田鑛に火災

卷揚機使用不能に陥る

廿六日午前五時半ころ石城郡磐崎村小野田炭礦瀧口坑卷揚場から出火、同所建物(七・五坪)を全燒　卷揚器一個を使用不能にした、平地區署員が現場に急行、原因其の他の調査に當つている、此のため同瀧口坑は出炭不能に落ち入り損がいは相當數にのぼるものと見られている

〃〃〃〃炭勞組合委員會〃〃〃〃

日本炭鑛勞働組合常磐地區連合會常任委員長は二十五日午前十時から大工町勞働會館に開き決議された組合行動方針の具体策について協議し平和運動を展開することになつた、當面の運動に關しては紙芝居、げん燈機、移動映畫等で各地を巡回無料で大衆へ公開する、

二人組強盜

勿來町に現る

勿來町窪田町通り無職森田長男(三六)は二十五日午後二時半ころ同町横町八幡様下を通行中木刀を持つた二人組強盜に襲われ現金五百円を強奪されうえ田地區署に届出た、同署で犯人嚴探中

・・・・東部炭礦技術會・・・・では十月三日午前十時から平石炭會館で機械化並びに保安の合同研究專門部會を開く

酸素罐破裂

家根をはがる

廿五日午後四時ころうえ田町台町元農協組廣場附近で同町本町自轉車商佐藤文吾さんに届ける郡山からトラツクで運搬中の酸素容器三十六本のうち一本が同所で荷下中破裂、同台町高木力(三四)方の二階屋根を打拔き店先をメチャメチャに壞した外二軒の窓ガラスなどを

集團赤痢を警戒

錦町徹底消毒を施行

既報＝錦町の集團赤痢十一名發生と既に發生したものを併せると四十名の多數に達したので平保健所では同地域を重視縣衛生課技師は現地に出張、青山平保健所長と共に町當局を動員、一週間に亘り町內の徹底消毒に乘り出すと共もに一千余名に對し保菌者一齊檢査實施するなど完全撲滅を期してゐるが町民の豫防衛生に對する關心こそ必要であると語つてゐる

市共催……

一小破した、損害は一万三千円相當、原因は取降し中の不注意と見られるがうえ田署で荷扱自動車及び運轉手等詳細調査中

地區別決定は事務局一任である

馬目縣議縣外視察から歸る

縣會議員馬目武之助氏を中心に議員六名、縣總務課長以下三名の一行九名は去る十七日から山梨、長野、岐ふ、富山四縣の財政について視察廿四日歸つた

町村別明年度煙草作付面積

專賣公社平出張所では廿五日午前十時から管內煙草耕作組合長を參集して廿六年度煙草耕作面積配當に關する打合せ會を開いた、廿六年度縣下煙草耕作面積は廿五年度の實耕作面積五千六百五十町歩から五十町歩下廻る五千六百町歩と決定した、結果平地區煙草耕作面積は廿五年度の百七十五町歩から十町歩削減されて百六十五町歩の割當面積で町村組合別配當面積は平市三町、好間二町、內鄕二町、草野四町五反、大浦二町五反、大野八町、高久四町、豐間一町五反、夏井一町、鹿島七町、四倉一町五反、上小川六町五反、下小川五町五反、赤井八町、泉五町、磐崎九町五たん、小名濱一町五たん、渡邊三町、江名二町、植田四町、山田二町、五たん、勿來四町、川部一町五たん、田人一町五反、上遠野十八町、永戸十二町、箕輪三町、澤渡五町、入遠野廿一町歩と決定した

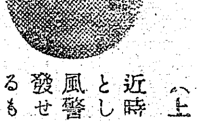
〃〃〃〃信連役員會〃〃〃〃

廿七日午前十時より石城農業會館に於て濱三郡の信連購連の役員が參集して受取り手形に關する打ち合せ會を開く

植林と治水に就て

(上)

櫛田彦之進



近時頻々として颱風警報が發せられるも幸い當地方に被害少なきも明日にも知れず水禍に見舞れぬとは決して誰も斷言出來ぬ抑々水なるものは吾々の日常生活に絶對不可缺にしてこの恩惠に浴する至幸に敢て課々するまでもない然るにこの水なるものに一朝暴威を奮われ水禍に見舞われるならばその被害の甚大なること恐ろしき事既に世人の知る通りである、私の家は大正二年八月水禍に見舞われ家は半壞家財を相當流した事があり遂に轉居の止むなきに到る、當時の事を思えば肌にあわを生ずる思いがする

想うに當時官有原始林の亂伐加ふるに山火事多く近年の出水より雨量少なきに拘らず被害が多かつたのである、我が入遠野川の(鮫川の支流)上流の入川には數十町歩の原始林あり奥地開發を理由に木材業者の進言に依り營林署と村との協力の許に道路を開きつゝあるも之に反對する者恐らく私一人あるのみ、何故なれば原始林を伐るのを目的の道路の様なればなり、該地はわ山なれば心すべき要あり(道路は別方面に既に九分通り通じて居ることを附記す)

故に吾々はこの水の被害を最少にすることに常時頭を使わねばならぬものである、それには先づ山野、宅地は勿論耕作に害なき所等々一本の木と雖も大切に植栽及び保護し繁茂させる以外に根本的方策なくこの植林に據り或る程度水禍を免るものである

都會人士に於ては此の植林問題は知る人も數多くあるかも知れぬが、概して無關心の人が多い様に見受けられるが、苟しくも社會生活を營む上に於て是非共大なる關心を持ち理解を深めて頂かなければならぬものと思ふ

政府に於ても此の事に如何に關心を持つてゐるか、折にふれラジオ等を通じ「木を植えろ」即ち植林政策を普及させる様努力してはゐるが、その話は割合に達して居ない、偶々ラジオ其の他に依つて宣傳されても私の五十年の經驗から見れば其の愚論に驚くことが多々ある次第である

私は本年六十六才、十六才の春父より百姓は木を植えることを若い時より心掛ける事最も大切であり、林學者や其の筋の役人は自分の山に木を植えて見ずに然も木より生れた樣な話をするが木を植える事は百姓の仕事で役人の仕事に非らず役人から木を植える話を百姓が聞くのは主客てん倒汝等は宜しく植林を實地に研究し役人に敎へる樣心懸けよと、それで五十年の經驗をこれから述べようと思うが紙面の都合上簡單に述べて見よう、それには何木が自分の山に適するや否やを考え適地適木を必ず實行しなければ應々失敗することがあるその例として私の体驗として次の樣な事がある

＝(寫眞は櫛田氏)＝

商狀、經濟欄

【鮮魚】

廿六日現在卸値(單位貫)

かつを	三八〇—三五〇円
ひらめ	七〇〇円
かながしら	三〇〇円
かれひ	二五〇—二〇〇円
まこ	四五〇円
むし	四五〇円
やなぎ	四〇〇円
ほうぼう	二八〇円
さつまあげ	二五〇円

市況＝入荷少く活潑

【青果市況】丸サ市場

なす	五〇—四〇円
きうり	七五—五〇円
ねぎ　小束	一一—九円
玉ねぎ	六五—三五円
ごぼう	一三〇—一〇〇円
人参	一八〇—一二〇円
大根	三八—一五円
大根葉(一把)	三円五〇錢
菜類(一把)	四—二円五〇錢
里いも	八五—六四円
さつまいも	五〇—四〇円
葉しようが	一七〇円
枝豆	六五円
みようが	二〇〇円
くり	三〇〇—二八〇円
柿	八〇—五〇円
梨(長十郎)	一三〇—六〇円
りんご(福島)	一〇〇—六〇円

市況—入荷多く人氣よし

【株式市況】26日前場　磐城證券

發行日取引制度の許可その他不動產金融等の材料もあつて月末換金賣りで惡くした、昨日に引くらべて幾分明るいが當分横這いであらう

鋼管	六七
東洋紡	三〇二
鐘紡	一三七
日清紡	二九八
呉羽紡	一二九
日東紡	一二一
片倉	六四
帝人	一〇三
東洋レ	一四〇
新光レ	三〇五
山パル	一七〇
東海上	五三三
新郵船	一六七
三井船	二九
日發	三四
三井山	四五
日石	七七
三井造	一七〇
日立	三四
東北バ	三〇二
呉羽化	五五
苫小牧	一七〇
十條紙	一八三
本州紙	三〇五
日セメ	七七
磐城セ	一六一
小野田	一二八
不動新	三二
陽和不	一七九
開東不	一
三越	四〇〇
日麥酒	三一〇
朝麥酒	三一六
キリン	三一〇
寶酒造	一五三
野田醤	三六〇
豊年油	一〇八
高壓	五一
日產化	五五
日活	三二四

小名浜港水揚

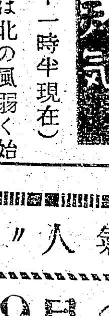
魚況　廿二日午後

平目	七五〇貫
まこ	六〇〇貫
はも	三五〇貫
すし	三〇〇貫
ほうぼう	二五〇貫
たこ	二六〇貫
ぎんはも	一五〇貫
小あぢ	二〇〇貫
大かつを	四二〇貫
中かつを	三四〇貫
小かつを	二六〇貫
ひいら	二四〇貫
ひび	三八〇貫
さば	二三〇貫
ちほ	二五〇貫

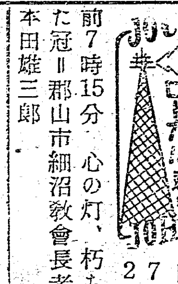
配達員募集

夕刊配達につき午後四時頃まで出勤出來る中學以上の在學生五名をもとむ希望者は御來社下さい

九月廿七日
平市南町六六
磐城毎日新聞社



(廿六日十一時半現在)廿六日の晩は北の風弱く始めは晴後ち次第に薄雲が多くなつて來ますがお月見には良い晩でせう、廿七日は北の風薄曇から高曇りとなりませう今晩は曇がちの見込みです、明日は北東の風曇りがちから天氣は惡くなりませう海上は今日はおだやでせう



27日

前7時15分　心の灯、朽ちた冠＝郡山市細沼敎會長老　本田雄三郎

後5時15分　子供の時間＝郡山子供新聞第3号＝野村アナ

後6時30分　職場の女性めぐり(2)＝保姆さん＝安積幼稚園湯田美智子

くすり
テラポール
今日も元気で
電四〇平四
関内薬局

定評有る
大塚の
紳士靴
婦人靴
最新型……豊富
競技用靴　野球靴　ラグビー靴
御注文…迅速
大塚運動具店
平驛前通り
電話七十七番

"人氣の焦点"
9月の
100万圓寶籤
幸運は買つて待たう!!!
奬金1,000圓以上が4,800本
以下9等迄當籤率絶好
9月10日より賣出中
日本勸業銀行平支店

皮膚科
性病科
內科
矢吹醫院
平市縣社下
電話一一九三
二二九五番

第二自由勞組を結成

反共系で準備會開く

平市の自由勞務者約四百名は容共組と反共組の二つの流れが常に反目し內部もめが絶いなかつたが今月初旬市長のポケットマネーから出た二万円のお盆手當の分配（組合員七十円、非組合員三十円）をめぐつて俄然對立が表面化し第二組合結成の動きにまで發展、注目されるに至つたが遂に分裂市內鎌田町松本直義氏非共産系及び組合に加入してない一般勞務者二百余名が参加、反共をスローガンに第二組合を結成、二十六日午後一時から市小使室で準備會を擧げる運びにまで發展した、第二組合のスローガン要旨

△共産黨的色彩を持つた過激分子は絶對に入れない

△怠惰者などは加入させない

△眞に平市建設に邁進する眞面目な者で組織する

縣道通行止め

小野新町線

縣道小野新町—平線は石城郡小川村大字上小川地內加路橋の修繕のため廿七日午前六時から午後六時までの間諸車通行止めになる、迂廻路線には縣道上三阪—平線接續線小野新町—須賀川線を利用すること

炭礦保安優良の

資源廳表彰推薦さる

資源廳では本年度全國保安優良者表彰式を來る五日行ふことになつた、平石炭事務所管內優良炭鑛並びに個人に對しては推薦委員會を開き左記の通り推薦した

中央表彰の部

△炭鑛＝常磐、山口両炭鑛

△個人＝常磐湯本鑛支柱工手渡邊好（四六）氏勤續廿五年、山口炭鑛支柱夫田澤銀作（四九）氏勤續廿年

△團体＝常磐炭鐵救護隊

地方表彰の部

△炭鑛＝常磐磐崎、重內、櫛形、關本、町田の五礦

△正副保安管理者＝常磐鈴木甚吾（副）氏、高萩柳澤良助氏（正）茨城海老名宇八氏（副）關本加古平吉氏（正）常磐北山準之進氏（保安監督員）山口鈴木金大郎氏（正）重內眞船政雄氏（副）

△個人＝重內木村政吉氏、勿來落合健一氏、內郷松崎淺次郎氏、磐崎志賀き一郎氏、好間管野万作氏、磐崎大場惣四郎氏、內郷居倉好正氏、關本宮內明氏、櫛形仁田里美氏、町田高島清美氏

△團体＝高萩炭礦救護隊

なお地方表彰は同日平石炭事務所で擧行する

弱味に突込む

鮮魚商送檢

小名濱町明神町二二鮮魚商甲斐正信（三九）は去る六月中旬ころ同町某女（三五）を小豆を買つてやるから双葉郡大野村山中に連れ込み同女を強姦、更に八月廿二日同女の弱身をつけ込み自轉車一台、白米八升、現金二百円をせしめ小名濱署で取調べを受けていたが廿四日送檢された

石城郡內植林

七〇％達成

石城事務所管內の本年度造林實績並に秋季植林計畫は第一・四半期分實績が四十三町七反歩、第二・四半期分實績が八百五十八町八反歩で秋季植林計畫として三四半期分計畫は五十三町九反歩で植栽用として山出し苗木需給計畫は杉苗木が十三万本、赤松一万三千本、くぬぎ二万一千本、黒松二千五百本が計畫されその他管內の生産量は杉が卅五万八千本、赤松五万五千本、くぬぎ三万本、黒松一万本である、なほ縣に於ける本年度造林計畫事業として春季植栽が年間計畫七千五百町歩の約七十%を完遂してゐる

畜産興業社長

大平氏就任

廿二日午後一時より石城農業會館において畜産興業株式會社役員會を開催、役員の互選で社長に大平正次氏專務に合津義男が就任した後昨年三月迄の事業計がくを立てた

列車の妨害事故

一年間四十一件に達す

今年七、八月にかけて常磐線平驛を中心に繁發した列車妨害事件は公安當局の不眠の活躍を尻り目に富岡—廣野、綴—植田方部と各地に出沒「これでは汽車にもうつかり乗つては居られない」と巷に話題を投げてゐたが平鐵道公安室管內の昨年七月以降今年九月十二日までの列車妨害其の他事故統計によると最も多い地區としては平—綴驛間、植田—勿來間、赤井—小川郷間などで總件數は四十二件にのぼつてゐる、其のうち譯は列車投石五件、線路置石二件、列車投砂一件、運轉妨害二件、信号通信妨害五けん、除行燈破壞五けん、自動車衝突二けん、土管表示標破壞一けん、通信妨が九けんとなつてゐる

小名浜通信

三千屯岸壁使用に關して亦してもゴタゴタが出來て居る様だが、何れにしても紛糾をなからしめる事が肝要事だ、縣の港務所あり、海上保安部あり、海運省小名濱支局があつてどれが系統的に正しい管理權の行使者であるのか、其權限が決定しないでは、何時も紛糾の解決が出來ない譯だ、現行法では縣知事が當面の管理權を行使出來得るものとして濱田所長の存任が尤も權威を保持すべきであるとの考察は無理でない處であると思ふべきであらう

× ×

税務署の職務の一部であつた土地の分割や、地目の變更などの事務が税務署から法務廳の小名濱出張所、即ち元の登記所に移つて、市町村から直ちに、法務廳に移管になつたのはある意味で、善いと思ふが法務廳は人員を一任して執務して居る、是れが爲め事務の澁滯が多く場合によつては、思ひがけない損害を民衆が蒙つて居る誠に非民主的制度であると言はねばならないこれでは民主國家の育成を阻害するの方法だとの批判は免れない、何とか改善の要ある事を考究すべき事と思ふ

× ×

勸銀小名濱出張所が愈々閉鎖の下準備に取り掛つたと傳へらるゝが前任平支店長の嘉悦氏は早くから小名濱方面の漁業家に對して敬遠主義を取りヤヤもすれば勸業の名にそむくが如き行動に出たと噂されるが其の噂さは正に實現せんとして居る事は地方の爲めに遺憾である、出來得るなれば昔の様な漁業を山師事業と考へないで是非を理論的に生かして行くと云ふ考へ方を以て金融政策に手を伸ぶべきで殊こ金融業に於て然りである勸銀のこの態度は地方をひ益するに何ものもない事になるので現支店長の熟思默考を促して止まぬ

中小校運動會

スポーツの秋を迎えて郡內の各小中學校は秋季大運動會の準備に大童となつてゐる、日程は次の通り、△廿八日永井小中△廿九日湯本小△卅日平五小、平六小、好間二小△一日宮本、勿來中、好間一小△四日勿來三小△八日植田小△十日平二中△十五日平三中△廿日勿來一小

杉立木を盗伐

小名濱町字岡小名岸二七農丹野耕造さん所有の山林より杉立木二本、時價二千円相當が十五日より二十四日の間に窃木されてゐることが判明、小名濱署に届出た

官廳荒しまた現る

廿五日午前一時ころ平市正月町戰災復興事務所に盗賊が現はれ同所宿直室表戸を開け侵入しようとしたが目をさましてゐた同所宿直のおばさんに發見されあわてゝ逃走、同所から約五十米離れた正內町靴職吉田武雄さん宅から背廣上衣を盗んで行方をくらました、なお復興事務所には去る八月十八日にも賊侵入、同事務所の金庫の鍵が破られており更に同月廿日には窓から侵入、物色中所員に發見され果さず逃走して居り今度で三回目（いずれも被害なし）で同所では良く良くねらわれたと、鍵の新調やら取締りの確認やらで大童、なお同所ではいずれも同一犯人の仕事ではないかと見てゐる

トンマな鉋金泥

わだちからばれて捕る

廿二日午前一時頃小名濱町三洋鐵工場（鈴木丑松氏經營）に賊侵入、スクリーウクランクシャフト約四十貫を窃取リヤーカに積んで逃走したのを家人が發見、町署に届出た、署員が馳け付けタイヤの跡を追つて町內字寺廻り四三高山德三郎方の地下に盗品を埋めてゐるところを逮捕した、取調べの結果犯人は同町松ノ中大工職齊藤金治（二四）同下神社廿二甲斐信平（三三）と判明、余罪取調べ中

漁夫の悪事

小名濱町辰見町無番地漁夫小野信一（一八）は去る廿二日同町字上町漁業三代亀太郎氏方の漁船稲利丸から米三升花札一組を窃取、町署え

剣道大會開く

一日武德殿に

磐城劍友俱樂部（會長鈴木辰三郎、副會長關內正一、同木山茂彥）では來る一日第一回劍道大會を平地區署武德殿にて行ふ事になつた

平市狂犬病予

防接種

平市衛生課では來る廿九日から四日間狂犬病予防接種を實施する事となり各畜犬の未登錄犬は洩れなく登錄を受ける様に要望してゐるなほ接種實施場所は廿九日午前九時から午後二時まで公會堂に於て舊市內全部、卅日は第四小學校で平窪方部、十月二日第五小學校で飯野支所管內、三日第六小學校で神谷支所管內接種料は一頭に付百円

傳染病絶つ

小名浜町一安堵

夏季間傳染病の續發から嬉しくない繁昌を見せてゐた小名濱町隔離病舍も秋の訪れとゝもに收容患者もめつきり減少、僅かに一名となつてゐたが昨日全快退院したので病舍も閉鎖した

保健所新築

贊助會役決定

平保健所建設に對する贊助會は既報の如く二十二日午後二時より地方事務所に於て開催し贊助會長に箱崎利勝（地方事務所長）副會長山崎武賴（石城郡旅館組合長）工事委員長內木宗八（石城醫師會長）經理委員長小谷義男（市衛生課長）の諸氏を役員に選任し建設費の寄附募集（各町村割當ての寄附募集を除き）に就て協議した

慰靈祭執行

遺家族を招き

久の濱町婦人會主催万國戰沒者の慰靈祭は廿四日午前九時から遺家族その他關係者を招き嚴かに取り行はれた

衛生講習會

勞働會館に

平市勞働基準監督署では十月一日午前十時から縣衛生管理者協會平支部の後援で大工町勞働會館で衛生講習會を開く、講師は長塚福島勞基署安全衛生課長、今野日本水素衛生課長、鈴木常磐炭礦湯本病院長

全國辯論大會

出場選手決る

廿四日午前十時から平市大工町勞働會館で開かれた第四回炭勞辯論大會常磐地區豫選の結果入賞者はつぎの通り

△一等　石炭産業と勞働組合、常磐住吉礦村田重藏氏

△二等　同好間古河炭礦山野邊優氏

△三等　常磐炭礦久野信一氏、なお村田、山野邊の兩氏は來月廿日福岡市で開かれる全國勞働辯論大會へ東部代表として出場する

千葉組決勝で

惜敗

全日本軟式庭球選手權大會は廿三日明石市公園コートで行つた、縣代表千葉、大門組は決勝で三重縣生川、島田組に四—二で惜敗、選手權を逸した

人事ニュース

△末吉平復興建設事務所長は二十六日二十四米國道工事々務打合せのため縣え出張、二十七日歸平の豫定

△添田教委石城出張所長、同鈴木職員は廿七日箕輪村第一小學校增築落成式に出席、同日第二小學校、同中學校を視察する

慶弔錄

婚姻　廿二日平市上平窪薄葉定政（三六）氏平市一丁目坂本なを（三八）さん△廿二日平市禰宜町上野忠信（三八）氏渡邊村大字松小屋遠藤ゆき（三八）さん△十九日平市下平窪字曲田明智七郎（三二）氏箕輪村大字大利根明智しげ（三四）さん

出生　十六日平市搔槌小路田村順氏二女裕子さん△廿一日同二丁目柏原正一氏長男謙一郎さん△廿一日同一丁目坂本定政長男久男さん△十六日同立町金成勝雄氏長男邦雄さん△十八日同立町香野千代松氏二男美由貴さん△十七日好間村大字愛谷勝沼俊也氏長女早苗さん△十一日平市六間門中野普氏長男民義さん△十日平市久保町佐藤守弘氏長女容子さん△十九日好間村大字川中子柴野秀市三男孝さん

死亡　廿二日平市鎌田町瀧川タケ（四八）

矢吹醫院分院
成圭堂醫院
胃腸科
內科
小兒科
平市鎌田　電1295話

三輪車運轉手一名を求む
獨身者住込の出來る方
年令二十才—三十才迄
給料委細面談
醤油・味噌釀造業
合名會社 岡崎屋本店
小名濱町本町
電話一三番

季節の味
乾めん　うゝめん　冷むぎ　素めん
◆…委託加工は是非當店へ…◆
永島製麵所
工場 平市杉野澤 電1094番　出張所 平市田町

安くてうまい
中華てば
和食・洋食
折詰
出前迅速
三丁目
平会舘
電六二四

新らしいミルクプラント
いつも新らしい良い牛乳
川角の牛乳
平市下平窪　川角牛乳店

秋冬の注文洋服
男子の服裝を「スッキリ」と造るのには？　先づ何よりも
「トップスタイル」を最も洗練された技術と永年の專門知識をもつて信賴出來る當店を御選び下さい!!
平市三丁目角
佐川洋服店
電話四一八番

本場自慢
牛豚肉
愈々肉食の季節が參りました!!
第一綠屋　電五三九
第二綠屋　電七九四

きつと御氣に召す!!
當店獨特のドライクリーニング
1950年のニュールツク
金屬型が入荷しました
秋の中折帽子のクリーニング
超スピードで仕上ます
合名會社 白榮舍ランドリー
電話661番